

濡れて楽しい!

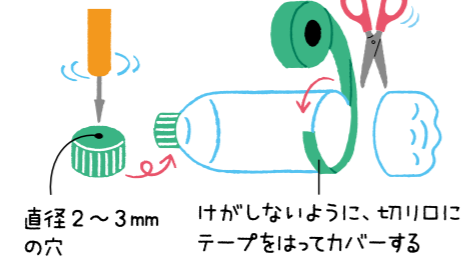
ペットボトル製 水でっぼう



〈作り方〉

1 ペットボトルの底をカッターナイフ
 やはさみで切り取り、ふたの中央
 に穴を開ける。

●準備するもの●
 ペットボトル(丸い形で
 凹凸の少ないタイプ、
 500ml)・ラップの芯・
 ラップ・ビニール袋(傘
 用)・古布・輪ゴムやタ
 コ糸など・ビニールテ
 ープ・カッターナイフ・
 はさみ・穴を開ける道
 具(キリや釘)



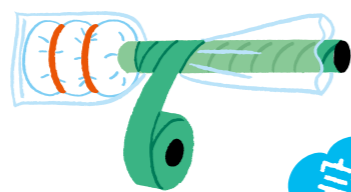
2 水に濡れないように、ラッ
 プの芯にラップを巻いてテー
 プで固定する。



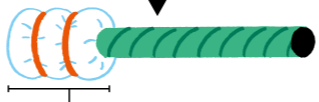
3 芯の先に裂いたタオルや靴下
 などの古布を巻きつけ、輪ゴ
 ムやタコ糸で布がずれないよ
 うに固く縛る。



4 布が水分を吸収しないよう
 に、傘用のビニール袋など
 で覆っておく。



芯の先に釘を打ち込んでおく
 布がずれずに留めやすい



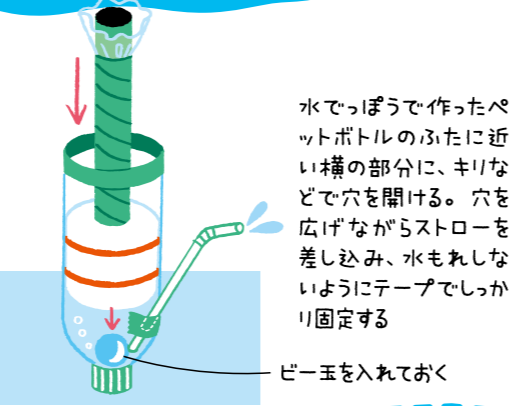
幅6~7cmぐらい。
 水がもれてこないように
 ペットボトルの直径より
 やや大きめ、すきまなく
 入る太さにまとめる



穴を指で押さえて水を入れ
 布を巻いたラップの芯をペット
 ボトルに入れる。ラップの芯をぐいっ
 と前に押し、ふたの穴から水が勢いよく飛び出す!

応用編 噴水式水でっぼうを作ろう!

水中にペットボトルの先
 を沈め、芯を上へ引くと、
 ビー玉が浮いてふたの穴
 から水が入る。水をため
 てから芯を下に押し、
 ビー玉が栓になり、噴水
 のように水がストロー
 から飛び出す!



庭先で、小さな女の子がビニール袋に水を入れて、花に水をやっていきます。そこでひらめいたパパさん。ストローの先をとがらせて、ビニール袋に突き刺し、セロハンテープで固定してあげました。すると、たちまち「じょうろ」に早変わり。水やりも楽しくなりました。

すると、お兄ちゃんも「ボクにも作って」とビニール袋を持ってきました。で、またまたひらめいたパパさん。昔を思い出し、水でっぼうを作ろうと思ったのですが……、青竹なんてそうそうありません。そこでキッチンで見つけてきたのが、ペットボトルとラップの芯です。ここからが、パパさんの腕の見せどころ!

ペットボトルの底を切り取り、ふたに穴を開けて、まずは水でっぼうの本体が完成。ラップの芯に布を巻きつけてペットボトルにセットすれば、簡単な水でっぼうの出来上がりです。穴を指でふさいで水を入れ、指を離して芯を強く押し、いきおいよく水が飛び出てきます。ストローをペットボトルに刺して噴水式の水でっぼうにしても、おもしろいですよ。

服が濡れてもOK。夏の太陽がすぐに乾かしてくれるはず。思いっきり、水遊びを楽しみましょう。

●木村研(きむらけん) / 手作りおもちゃ研究者として、おもちゃの講演や講師、創作おもちゃ本の執筆などで活動中。児童文学作家でもあり、『999 ひきのきょうだい』(ひさかたチャイルド)などの著書多数あり。